

苫小牧市長
岩倉博文様

2017年10月30日

新日本婦人の会苫小牧支部
支部長 加納 千鶴子

市長懇談のお願い

冬の足音が聞こえる頃となりました。日頃より新日本婦人の会へのご協力に感謝申し上げます。

懇談の日時 11月20日(月) 11時より

要請内容

- (1) 度重なる北朝鮮のミサイル発射で、Jアラートが鳴り、多くの住民に不安が広がりました。また、日米共同訓練によるオスプレイが苫小牧市上空を飛行し、市民の目撃情報が市に対して多数寄せられ、いつ墜落するか分からないオスプレイの飛行訓練は中止すべきだとの声も挙がっています。最近のこうした状況は私たち市民の平和な生活を脅かし、新日本婦人の会としても、黙認できない事態だと感じています。特に北朝鮮に対する日本やアメリカの態度は、対話より圧力だとして、一触即発の緊迫した状況となっています。私たちはあくまでも平和的解決を望みます。国に対して「非核平和都市」条例をもつ貴市長として、日本政府に対して平和的話し合いで解決するよう強く要請していただきたい。
- (2) 介護・国保・医療の問題について
新日本婦人の会では会員に対し、「医療・介護」の困りごとアンケートを実施したところ、切実な声が寄せられました。会員の願いに応え、貴市としての取り組みなどについてお聞きしたい
 1. 介護問題では、ショートステイや高齢者施設(ケアハウス、グループホーム等)の設置状況
介護保険料の引き下げ、介護利用料の負担軽減についての対応策は？
 2. 国保料は来年から実施される都道府県化によって、どのように変わるのか 国保加入者負担は？
 3. 年金に頼らざるを得ない高齢者の医療費負担は重く、軽減策が必要ですが、その対策は？
- (3) 子どもの医療費無料化について
全国でも義務教育終了まで子どもの医療費の無料化が広がっており、さらに進んでいる自治体では高校生まで無料化を実施しています。貴市の無料化の実態と今後の対応についてお聞きしたい
 1. 全国の無料化の実施状況について
 2. 北海道内の状況と苫小牧市の現状について
 3. 義務教育終了まで無料化すると年間どれほどの予算が必要になるのか
- (4) カジノ誘致に貴市は熱心ですが、私たちが聞き取りなどの取り組みでは、「誘致反対」の声が数多く寄せられています。行政主導型の説明会が市内で行われていますが、市民にとってカジノ＝賭博は「百害あって一利なし」であり、安心して子育てをする環境を壊し、少子化に拍車をかけることになりかねません。さらに、苫小牧周辺にはラムサール条約に指定されたウトナイ湖があり、自然共生型リゾート開発そのものが自然破壊に繋がります。自然を守る会や野鳥の会の会員のなかからも不安の声が挙がりはじめています。住民の健康を害する依存症だけでなく自然をも壊すカジノ誘致には絶対反対します。貴市長のお考えを改めるよう切望いたします。

尚、11月15日までに、回答して下さることをお願いいたします。

連絡先 新日本婦人の会 苫小牧支部
担当 佐藤 昭子
苫小牧市見山町4丁目1-29
TEL 72-2791・FAX 72-2812